

■甲田ゆり子 地域実績



▲道路看板の設置(松が丘2丁目)



▲道路看板の設置(松が丘2丁目)



▲カーブミラーの設置(上高田5丁目)



▲道路の段差解消(新井4丁目)



▲舗装補修で振動解消(薬師門前通り町栄会通り)
(薬師門前通り町栄会会長 飯嶋孝嘉さんと)



◀腐食した街路灯の交換
(新井5丁目)



▲保育園門扉の鍵をデジタルキーに交換(区立あさひ保育園)



▲「とまれ」の道路表示設置(柳通り)

■甲田ゆり子 区民相談受理事件数

年間162件(2011年5月～2012年4月)
(区政に関すること、お気軽にご相談ください)

甲田ゆり子連絡先

- 公明党控室 03-3228-8875 FAX 03-3389-8680
- ホームページ <http://www.komei.or.jp/km/nakano-koda-yuriko/>
- ブログ <http://ameblo.jp/anskissui/>
- Eメール kouda-yuriko@aioros.ocn.ne.jp
- Twitter @KoudaYuriko
- Facebook 甲田ゆり子 または Yuriko Kouda で検索



こうだ
甲田ゆり子
ニュース 
公明党 VOL.003
発行元:中野区公明党議員団 ■2012年 春号

こうだ!と決めたらまっしぐら!生まれ育った中野を笑顔輝くまちに

平成24年
第1回
定例会

平成24年度予算が可決

一般会計当初予算は1,164億7,800万円(前年比4.6%増)

一般会計の予算は、前年度に比べ51億800万円増となり、過去最高であった前年度を更新して最大の予算規模となりました。これは、防災公園の拡張用地の取得や耐震対策経費、より安全な中野のまちづくりを進めるための投資的経費が増額になったことや、将来を見越した基金の積立の拡充、起債が満期一括償還を迎えること、生活保護費などの扶助費が増加したことなどが主な要因です。

歳入については、特別区税が前年よりも大幅に減少し、平成24年度以降も急速な景気の回復は難しいとの予測があります。歳入規模に見合うお金の使い方をしなければ、持続可能な区政運営はできません。そこで区は、限られた財源を有効に活用するという観点から、今回74事業を見直し、これによって得た財源を保育や学校教育、障害者対策などに振り向けました。しかし、区民目線の欠如した事業見直しだけでは、真に生活を守る行政の役割放棄となりかねません。賢明な判断が大切です。

公明党としては、事業見直しに対して厳しく追及をし、特別区税や国民健康保険料の収入率向上と徴収対策に更に努め自主財源確保のための様々な施策展開を図るよう求めました。そのうえで、待機児対策のための国家公務員宿舎を活用した家庭福祉員事業や認証保育所の拡充、特別支援教育の拡充、小規模多機能型居宅介護施設等整備、電力コスト削減のための区内街路灯のLED化などが予算化されたこと、さらには特に強く求めてきた高齢者肺炎球菌ワクチン接種の助成制度がスタートすること等、我が党が要望した事業が実現の運びとなったことを評価し、この予算可決に賛成をしました。



中野駅ホームより北口

肺炎球菌ワクチンで高齢者の肺炎予防
公明党が推進!
高齢者の肺炎球菌ワクチン接種助成がスタート

中野区では、平成24年4月1日より、75歳以上の方の肺炎球菌ワクチン接種費用を、1回、2,000円助成することが決まりました。

肺炎は、日本人の死亡率4位。高齢の方では1位となっています。

肺炎の約半数は、肺炎球菌によるものです。

肺炎球菌ワクチンを接種することで、約80%は予防できると考えられています。

NEW KOMETO 公明党

お問い合わせ先: 公明党中野区連絡部 ☎164-8501 東京都中野区中野4-6-1 公明党控室 議員責任者 公明党中野区連絡部 TEL. 03-3228-8875

公明党が推進!
高齢者の肺炎球菌ワクチン接種助成がスタート

中野区で24年4月より75歳以上の方のワクチン接種1回に2,000円の助成。

→甲田ゆり子の質問内容は中をご覧ください。

甲田ゆり子は、平成24年第1回定例会にて、2月21日に一般質問に立ちました

中野から世界へ!アール・ブリュットの発信への支援について

甲田 都庁や区内でも展示が行なわれている、日本人画家によるアール・ブリュット(生の芸術)が、24年4月からヨーロッパ7カ国で巡回展を行なう。その事務局は、中野区の社会福祉法人・愛成会が務める。まさに、中野から世界へ向けてボーダレスな社会を創る素晴らしい芸術作品が発信される。芸術を通じて中野区が世界から注目されることとなる。是非、この発信に対する支援を行なうべき。

提案

- 区民に対し区報、ホームページ、ケーブルテレビなどで周知してはどうか。
- 各国の展示会場に区長のメッセージボードを展示してはどうか。

答弁

- 報道機関へ情報提供し、ホームページにも掲載して周知していきたい。
- 当該団体から要望があれば、協力したい。

区長より、オランダのオープニングセレモニーにメッセージが贈られました。



地域の見守り・支えあい事業について(仮称)支えあいサポーター養成講座の創設を

甲田 支えあいに必要なことは、制度よりも意識の変革である。これからは多くの区民の意識の醸成が必要である。

提案

- 支えあいサポーター養成講座を実施してはどうか。受講者には証となる支えあいリングを授与したり、この講座の開催を区民の意見も取り入れて各種イベントにコラボさせ、支えあいまちのPRのための「中野支えあいゆるキャラマスコット」も作ってみてはどうか。

答弁

- 現在実施している地域支えあい推進講座の中で、工夫して取り組んでまいりたい。また、さらに効果的な普及啓発事業のあり方について検討してまいりたい。

地域支えあい推進講座が各区分活動センターで開催されはじめています。

子育て支援について 妊婦健診未受診者対策について

甲田 出産のリスクだけではなく、経済的な理由や望まない妊娠など虐待の可能性も指摘されている妊婦の健診未受診者を減らすことが重要と考える。

提案

- 区としてまず実態把握調査をし、受診率向上に努力すべきでは。
- 産科から小児科を受診するための「はじめての小児科相

談券」を配布しているが利用率が少ない。妊婦健診の受診票綴りと小児科相談券を一体化して分かりやすくし、説明を強化してはどうか。

答弁

- 今後、妊婦健診の状況について実態把握に努めていく。
- 利用者が小児科相談券に関する理解を深められるよう、妊婦健診受診票綴りと一緒にした形で渡すなど工夫をしていく。

家庭福祉員によるグループ保育事業について

甲田 3歳未満の保育園待機児を減らすため、保育ママによるグループ型保育の早期導入が必要と考える。区は今年度、国家公務員住宅を活用したグループ型家庭福祉員事業を行なうことを明らかにした。

質問

- その進捗状況は。
- 家庭福祉員の負担軽減のため、相互連携が図れる制度について、具体的に検討しているか。

答弁

- 国との間で協議をすすめており、平成24年度に具体的な場所を提示されることになっている。また、企画提案型事業者選定方式による事業者募集を予定している。
- 年2回程度連絡会を開催して情報共有の機会を提供している。区として今後も家庭福祉員事業を拡大することにより、互いに協力することが可能になり、負担軽減につながるかと考えている。



一時保育を出産で利用する時の期間の延長について

甲田 緊急一時保育(※24年4月より短期特例保育)において、出産による保育園預かり期間としては、現在、産前1週間、産後2週間となっているが、多くの区が1カ月は預かっている。

提案

- せめて一カ月間とし、特別な理由があれば2カ月程度まで延長できる制度に。

答弁

- 周辺区の状況等も参考にして利用期間について検討する。

ホームページの子育て総合応援サイト創設について

甲田 子育て中の母親から中野区のホームページは分かりにくいという声をよく聞く。忙しく時間がない中でも見やすく分かりやすいページの作成を迫るべきである。

提案

- 中野区ホームページの子育てサイトは夢のある明るいデザインと、分かりやすい工夫を。
- 子育てのホームページだけは別建てのサイトにするべき。

24年4月より実現! 名目が「短期特例保育」になりました。

答弁

- ご指摘のような心がけは重要である。さらに改善していきたい。
- 別建てにするには大幅な改修が必要なため、見出し項目の表記を分かりやすく具体的なものにするなど、閲覧者が求める情報をすぐに見つけられるような工夫をしていきたい。

防災対策について 小学校・保育園における災害用ツイッターについて

甲田 提案 ●災害時の情報発信のひとつとして、区として各小学校・保育園がツイッターアカウントの取得をして情報発信できる仕組みを整備してはどうか。文京区ではすでに行なっている。

答弁

- 災害時、多様な方法で、情報を発信することは大切であるが、区としては、より確実と思われる災害伝言ダイヤルの活用を図っていく。



帰宅困難者対策について

甲田 提案 ●今後、災害時帰宅困難者対策訓練が行えるよう、まず民間企業や駅などとの協議会を設けるなどの体制づくりを。

答弁

- 発災時の連携・協力体制のあり方について、中野駅周辺の企業や事業者等と協議してまいりたい。

高齢者福祉センターについて

甲田 区内に4館ある高齢者福祉センターが今後廃止と発表されたことにより利用者が不安になっている。

提案

- 当センターで、生きがいをもって活動している利用者が、居場所や生きがいを失ってしまうことがないように、現在の利用者に対しては、調整を十分に行ない、一定の理解が得られるまでは施設の廃止延期も視野に入れ、協議を十分に行なうべき。

答弁

- 転換に当たっては引き続き利用者や地域の方に対し、意見交換会なども実施しながらご理解いただけるよう丁寧な説明をしていく。

拙速な廃止ではなく、24年7月頃に転換の具体的な案が出されることになりました。



質問に立つ甲田ゆり子

甲田ゆり子の活動報告

2011年 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・中野区消防団合同点検に参加 ・あらいまつり ・薬師アイロード20周年記念式典・祝賀会 ・中野区町会連合会軽可搬消化ポンプ・バケツ消化操法大会に参加 ・アールブリュットフォーラムに参加(中野サンプラザ) ・講演会「未来のエネルギー社会づくりに向けて」(東京区政会館)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生委員会視察(愛知県一宮市、岡崎市) ・中野区立療育センター・アポロ園視察 ・都立永福学園(障害者学校)視察 ・中野緑が輪市 ・公明党議員団で予算要望を区長に提出 ・上高田地区こどもまつり ・認知症サポーター養成講座(新井文化クラブ主催)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニークダンスを楽しむ区民の集い(勤労福祉会館) ・公明党議員団で子宮頸がん予防ワクチンについての意見書を提出し採択 ・NPO法人東京断酒新生会「酒なし忘年会」に参加(赤羽会館) ・公明党議員団新春街頭演説会 ・野方消防団始式 ・公明党議員団成人の日街頭演説会 ・中野区防災講演会 片田敏孝氏(ZERO小ホール)
2012年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・中野区福祉サービス事業団 評議員会 ・尾木直樹講演会「子どもの危機をどう見るか」(東京区政会館) ・中野区女性議員「防災に女性の視点を」街頭演説会 ・片山町会もちつき大会 ・台東区視察 ・上高田二丁目夜警(1/19-2/29)(新井文化クラブ) ※区内各種団体 新年会/賀詞交歓会に参加(18ヶ所) ・大震災に備えるフォーラムin中野(ZERO西館) ・第一回定例会(2/20~3/23) ※一般質問 ・中野区福祉サービス事業団 評議員会
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・第五中学校卒業式
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・中野区医師会主催 震災遺児のための東日本大震災チャリティコンサート ・【「愛の家」中野上高田】 オープニングセレモニー参加 ・中野区若手職員主催 NAS勉強会参加(区役所会議室) ・新井小学校卒業式 ・東京都医師会都民公開講座:健康保険制度について(有楽町 朝日ホール) ・中部地域スポーツクラブキックオフイベント ・中野区障害者防災委員会シンポジウム(勤労福祉会館)
	<ul style="list-style-type: none"> ・中野四季の森開園式 ・中野通り桜まつりに参加(新井文化クラブ)
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・第五中学校入学式 ※地域内での防災三三講座 講師(11ヶ所) ・福島市社会福祉協議会主催 除染ボランティアに参加(弁天山公園)



▲女性キャラバン隊



▲桜祭りパレード



▲中野 四季の森公園

▲片山町会もちつき大会